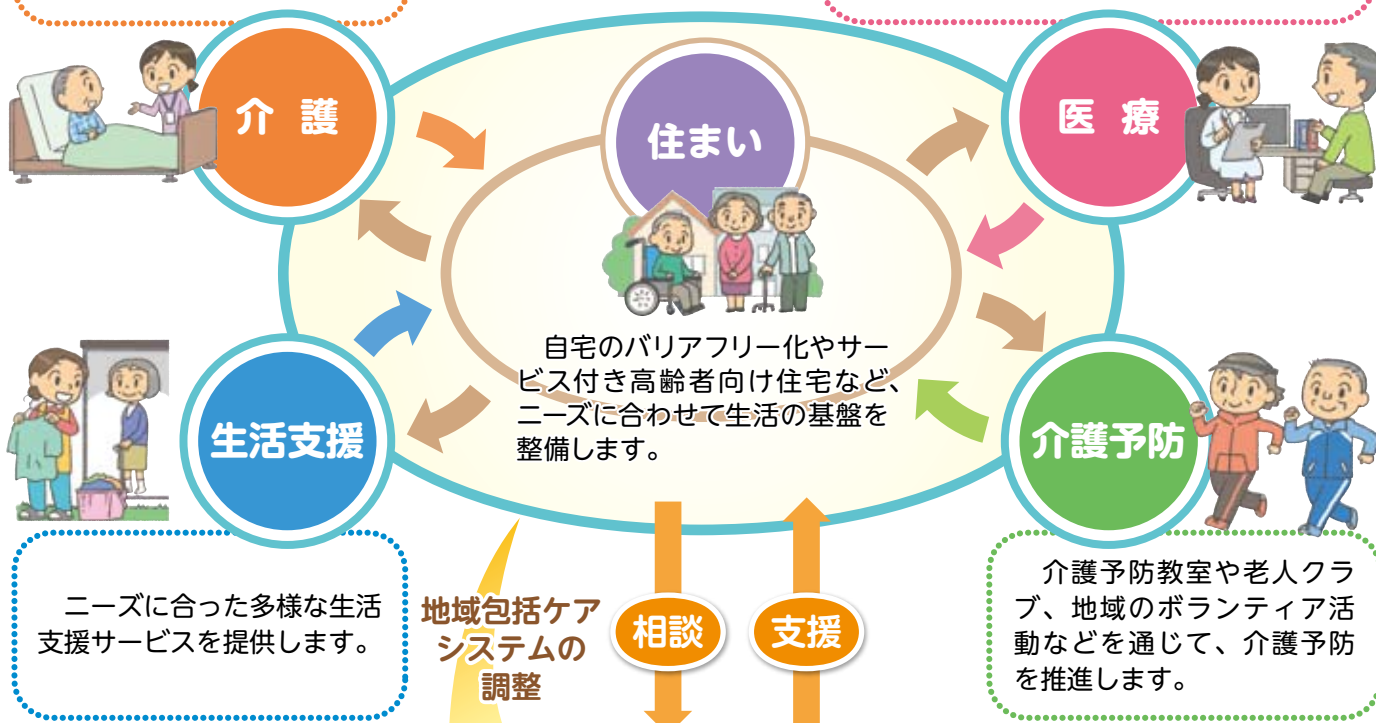


# 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように

地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するしくみです。必要なサービスを切れ目なく提供し、高齢者の生活を支えます。

訪問介護や通所介護、短期入所生活介護などのほか、地域密着型サービスの整備を強化します。

地域のかかりつけ医を中心とした24時間体制の在宅医療、訪問看護などの環境を整備し、介護や福祉分野との連携も充実させていきます。



地域包括ケアシステム

## 市・地域包括支援センター

地域の高齢者が抱える様々な問題などを見つけて整理し、医療機関、サービス事業者、地域住民や自治会などと連携して支援する地域包括ケアシステムの調整役です。

地域包括ケアシステムに必要な

### 4つの「助」

地域包括ケアシステムでは、市区町村などからの公的なサービスや支援の「共助」と「公助」だけではなく、自力で問題を解決する「自助」や住民が互いに助け合う「互助」による支えがとても大切です。

**自助**

住み慣れた地域で生活するために、自分で様々なサービスを利用し、問題を自力で解決することです。

**互助**

地域住民やボランティア、家族や知り合いなどが、自発的にお互いが助け合うことです。

**共助**

介護保険や医療保険などの社会保険によるサービスのことです。

**公助**

税金をもとにした生活保護や権利擁護など、市区町村が行う社会福祉サービスのことです。